

科目名	生理学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年 前期
【授業の目的・ねらい】 生態の活動のメカニズムを学び、身体の正常な状態について理解する。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】 生体の活動に関するメカニズムについて理解できる。国家試験に則した基礎知識を身につける。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 人体の生理学的機能について基礎を理解し、言語聴覚士に求められる知識を深める。										
回数	講義内容									準備物(教材)
1	ヒトの体のオリエンテーションとホメオスタシス 身体の構成における生理学的な概観と恒常性維持について理解できる。									
2	輸送(細胞膜と活動電位) 細胞小器官の働きと細胞同士の結合、輸送の仕組みについて理解できる。									
3	血液・リンパ系とガス交換 血液の組成と各成分の働き外呼吸と内呼吸について理解できる。									
4	免疫機構(自然免疫と獲得免疫) 防御機構と攻撃機能、抗原抗体反応について理解できる。									
5	神経性調節(刺激の発生と伝達) 活動電位と神経伝達物質について理解できる。									
6	液性調節(自律神経系と代謝・内分泌) 自律神経系の仕組みと働きについて理解できる。									
7	消化器系(消化管・膵・肝・胆臓)の働き 消化と吸収、排泄について理解できる。									
8	腎臓の働きと体内調節 再吸収と血圧について理解できる。									
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト』第3版 医歯薬出版										
【準備学習・時間外学習】 授業で学習したところの重点的な復習を必要とします。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。										